

あみの四季彩

網野町の人口(人)

	R2.12末	R3.1末	前月比
0～14歳	1,171	1,167	-4
15～64歳	6,494	6,478	-16
65歳～	4,847	4,853	6
合計	12,512	12,498	-14

浅茂川地区

太鼓の音色は世代を越えて

浅茂川地区では、毎年二月の節分の日に合わせて、数え年で三十六歳を迎える男性が集まり、『節分太鼓』の巡行を行います。「太鼓を叩くとその音を嫌がり鬼(厄)が逃げていく」(諸説あり)といわれ、太鼓の音で厄を祓い、一年の幸を祈願する節分行事です。

今年の節分太鼓巡行を行った「実虎会(みこと会)」では、コロナ禍での開催に合わせて、ガイドラインを作成し、参加メンバーのPCR検査実施や、巡行エリアの限定など、徹底した感染症対策を施しました。

当日は丹後ちりめんで作った市松模様の衣に身を包み、地区内六十五箇所で、太鼓を打ち鳴らして鬼払いを行いました。



今年度は、網野町内でも様々な行事が中止や縮小をされています。今回、浅茂川地区の節分太鼓も規模の縮小を余儀なくされましたが、取り組み方が変わっても長年続く地域の伝統は、しっかりと未来を担う次の世代に受け継がれています。



YouTubeで
動画公開中！

↑こちらのQRコードから実虎会の演奏動画を見ることができます。

網野こども園には、毎年節分の日になるとこの節分太鼓が巡行にやってきます。しかし今年は、安全のため大人数が集まる施設等については巡行が行われませんでした。そこで、網野こども園の子ども達は特製のダンボール太鼓を手作りし、「よーうつ、よーうつ!」「そこらじゃ、そこらじゃ!」と大きな掛け声をかけながら元気いっぱい太鼓の音を響かせていました。



海洋ゴミは地球規模の環境問題。とはいえまずは…

『海岸清掃に参加してみい?!』

1月末の寒波を受けて、市内の海岸に大量のゴミが漂着しました。夏場には多くの観光客で溢れる海水浴場にも、砂浜を埋め尽くすほどの量が流れつき、中でも小浜地区の海水浴場に打ち寄せたゴミは砂浜だけでなく、道路や公衆トイレの中まで流れ込みました。

この「災害級」ともいえる量の海洋漂着ゴミ。主に漁具、発砲スチロール、ペットボトルなどのプラスチック製品で、これらは何十年、何百年もの長い間、自然界に残り続けます。また、海洋漂着ゴミは浜の景観を悪くするだけでなく、生き物が死んだり、その生き物を食べる人間にも影響を及ぼします。

これは深刻な環境問題ですが、まずは状況を知ってもらうことが大切だと思いました。現在、誰でも気軽に参加できて、しかも楽しい海岸清掃を企画しています。また地域の海岸清掃情報をインターネット上で確認できるようにfacebookにページを作成しました。

みい～んな参加してみい?!



facebook

「MOYAKO(もやこ)」

←こちらのQRコードから



文&写真
地域おこし協力隊 八隅孝治

